

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
2 東 書	道徳 701 道徳 801 道徳 901	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判の大きさで、写真や挿絵の大きさが適切で読みやすい。 ・ 教材は複数の教材を関連づけて 28 テーマに整理され、巻末には付録教材が準備されている。 ・ 巻頭のオリエンテーションで、道徳の授業の基本的な流れが体験でき、「話し合いの手引き」は、授業で議論する具体的手順が示されており、言語活動の充実を図ることができる。 ・ 「1年間で学ぶこと」では、教材が4つの視点と内容項目で分類されている。 ・ 教材の構成は、内容項目を示すマークやテーマと考える観点が示され、主題が捉えやすい。 ・ 「考えよう」「自分を見つめよう」には、中心発問や、学びをより深めるための振り返り発問例が示されている。 ・ 本文下段に「つぶやき」の欄があり、思いや考えを書き留めることができる。 ・ 各学年共通の「いじめ問題対応」と「生命尊重」ユニットは、文章だけではなく、イラストや漫画、詩や生徒作文による3教材で構成され、多面的・多角的に学習できるよう工夫されている。 ・ 「アクション」では、役割演技や体験的な学習を通して、友達と協働して考えを深められるようになっている。 ・ 導入で問題を発見し、教材を読んでグループ討議を進めることで問題解決を図る教材も設定されている。 ・ ワークシートと一体となった教材は、生徒にとって授業の流れが把握しやすくなっている。 ・ 小学校の定番教材が採用されており、中学校ではさらに深く考えることもできる。 ・ 巻末には、学期ごとの「自分の学びを振り返ろう」が設定され、自己評価に生かせる。 ・ 付録の「ホワイトボード用紙」「心情円」は、少人数での議論や葛藤教材を学習する際に活用することができる。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
17 教出	道徳 702 道徳 802 道徳 902	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判の大きさで、文字の行間が広く、1年生の最初はフォントも大きくて読みやすい等、生徒の発達段階を考慮した工夫がある。 ・ 教材数は30+補充教材5の35教材で、巻頭には、道徳の4視点別の色分け表示と7つのテーマ別の分類が示されている。 ・ 挿絵や写真が大きく、漫画や絵本、歌詞等、生徒がイメージしやすい形式の教材がある。 ・ 「生命尊重」と「いじめや差別のない社会」については、複数の教材やコラムをまとめてユニット化して取り上げている。 ・ 「道徳科で学びを深めるために」には、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」という学習手法が示され、巻末の「道徳の学びを記録しよう」「道徳の学びを振り返ろう」で学びや成長を振り返る等、1年間の連続した学びを期待することができる。 ・ 教材の構成は、冒頭に見通しを持って授業に取り組む「導入の問いかけ」が設定されている。 ・ 教材後の「学びの道しるべ」には、物事を自分に引き付けて考えたり、多面的・多角的に考えたりして学びを深める発問例が示されている。 ・ 役割演技で体験的に道徳的価値の理解を深める「やってみよう」や、登場人物が判断を迫られる場面が中心の教材や、異なる立場からの考えや意見を取り上げた教材には、問題解決的な学習が設定されている。 ・ いじめに関連する教材数は、やや少ない。 ・ 様々な方面で活躍した人物の生き方から学ぶ教材や、実話に基づいた教材が豊富である。 ・ 社会参画や環境保全、国際理解や勤労、福祉等の現代的な課題も教材に取り上げられている。 ・ 見開きのページで別の教材を並べず、生徒が1つの教材に集中できるよう工夫されている。 ・ 出典が、編集委員会となっている教材が多い。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
38 光村	道徳 703 道徳 803 道徳 903	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判の大きさで扱いやすいが、教材によっては文字が細くて、黄色味の紙面で見づらい場合もある。 ・ 写真や挿絵が豊富で、落ち着いた色合いだが、色使いが多色で、やや戸惑う場合が考えられる。 ・ 生徒の発達段階に即して道徳的価値の理解を図るため、年間を 3 つのシーズンに分け、学校生活の流れと生徒の成長を考慮した構成である。 ・ シーズンごとに、複数の教材を結び付けてユニット化した教材が設けられ、生徒が無理なく主題を捉えることができる。 ・ 年間 31 教材と 4 つの「深めたいむ」が設定されている。また、小学校定番教材の「橋の上のおおかみ」「泣いた赤鬼」「手品師」で学び直しをすることもできる。 ・ 各学年の「道徳で何を学ぶの？」では、他者や自分との「対話」、「なぜ学ぶの?」「なぜいっしょに学ぶの?」が示され、最終教材には「道徳の学びを振り返ろう」が配置されている。 ・ 教材ごとに、内容項目を 4 つの視点で分類したマークと内容項目のキーワード、著作者名が明示されている。また、学びのてびきとして、教材のめあてと問いを示した「考えよう」、多面的・多角的にとらえる「見方を変えて」、他教科や日常生活と結び付ける「つなげよう」が設定されている。 ・ いじめ問題や共生、環境、国際理解等の現代的な課題には、コラム「広げよう」が設定され、物事を多面的・多角的に考えることができる。 ・ いじめを直接的に取り上げている教材数は、やや少ない。 ・ 巻末には、各分野で活躍する著名人 2 名から生徒に向けたメッセージが直筆で掲載されている。 ・ 巻末の切り取り式の「学びの記録」を使い、生徒は自分の学びの変容や成長を振り返ることができる。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
116 日 文	道徳 704 道徳 705 道徳 804 道徳 805 道徳 904 道徳 905	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判の大きさで、文字はやや小さいが、挿絵や写真が適度に配置されていて、視覚的に見やすく感じる。 ・ 巻頭に「教科書の使い方」として、各学年 35 教材とコラムの構成が簡潔に示されている。 ・ テーマ別に教材を分類したページもあり、教材の関連性を知って取り組めるように工夫されている。 ・ 「道徳科での学び方」では、学びを深める手立てとして、「気づく」「考え、議論し、深める」「見つめる、生かす」の学習の流れが、写真入りでまとめられており、話し合いや意見交流を通じて言語活動の進め方の定着を図ることができる。 ・ 教材の構成は、冒頭に道徳科の 4 視点別のマークと主題名、主な登場人物を示し、内容の把握を促して、「この教材で何を考えるのか」が分かるようになっている。 ・ 教材後の「考えてみよう」には、考え議論してねらいに迫るための発問例が、「自分に+1」には、学びを前向きに生かしていく発問例が示され、学びを深めるために、工夫されている。 ・ 道徳科以外での学習や他教科との関連を意識した「プラットフォーム」や、教材の内容理解を補助するコラム「参考」が設定されている。 ・ 「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を進める手立てが「学習の進め方」に示されている。 ・ 別冊「道徳ノート」は、教材ごとに自分の考えや思いを書き留めるとともに、友達の意見を記入する欄もあり、多面的・多角的に考えを深める効果が期待できる。 ・ 別冊「道徳ノート」は、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握して、指導や評価に生かすことができる。 ・ 多様な教材やコラムをユニット化した「いじめと向き合う」と「よりよい社会と私たち」が複数設置され、生徒が主体的に考え議論する機会を増やし、学びを深めることが期待できる。 ・ 震災関連の教材や、家族愛に関する教材、様々な方面で活躍した人物の生き方を取り上げた教材が豊富である。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
224 学 研	道徳 706 道徳 806 道徳 906	新・中学生の道徳 明日への扉 1 新・中学生の道徳 明日への扉 2 新・中学生の道徳 明日への扉 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判の大きさで、鮮明な写真や挿絵が豊富だが、文字がやや細く、読みづらい。 ・教材の関連性が分かるように、35の教材を4つの視点や「よりよく生きるための22の鍵」で分類している。 ・各学年冒頭の「新しい扉を開く」「明日への扉を開く」「未来への扉を開く」では、道徳で学ぶことや考えることが、「考えを深める4つのステップ」で示されている。 ・教材の構成は、冒頭に題名とキーフレーズに加えて、内容項目が色別の線で示され、末尾の「深めよう」には、具体的な学びの流れや問題解決的な学び方が提示されている。 ・全学年で「生命尊重」と「いじめ防止」が重点テーマとされ、教材に加えて、「クローズアッププラス」でも取り扱い、多面的・多角的に考える機会が設定されている。 ・四コマ漫画や著名な漫画を教材に取り上げることで、生徒に興味を持たせようとしている。 ・「クローズアップ」は、関連情報から考えることができるが、内容量がやや多い。 ・現代的な課題の情報モラルや社会参画、伝統文化や福祉に関する教育等が取り上げられている。 ・ユニット学習として、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」というテーマで、関連教材を連続で学習することで、物事を多面的・多角的に考える授業が進められる。 ・様々な分野で活躍した人物や、後世に名を遺した人物の生き方に触れる教材もあり、兵庫県関連の人物では、「イチロー」や「嘉納治五郎」が取り上げられている。 ・震災や防災に関する教材、家族愛に関する教材が豊富である。 ・生徒が自らの成長に気付くため、巻頭に「マイプロフィール」、巻末に「心の四季」「未来への扉」、学期ごとの振り返りができる「学びの記録」が配置されている。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
232 廣 あかつき	道徳 707	中学生の道徳 自分を見つめる1	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判の大きさで、写真や挿絵と文章のバランスが取れて見やすいが、写真は小さくて少ない。 ・ 1年生は、2・3年生に比べて、少し大きな文字が使われており、適切で読みやすい。 ・ 35教材が掲載された教科書と、学習の記録と内容項目の解説が収められたノートに関連付けて学習を進めるようになっている。 ・ 「自分を見つめよう、考えよう、のぼそうー道徳の時間とはー」には、学習のねらいや流れが示されており、巻末には、道徳科の内容項目が4つの視点で分類してある。 ・ 「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を最重要課題に位置づけ、「自主、自立、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」と関連づけて設定されている。 ・ 教材の冒頭部分には、内容項目を色別で示し、題名が記されている。 ・ 学習の流れとして、教材の末尾の「考える・話し合う」の「学習の手がかり」には、学習のめあてや発問例、「考えを広げる・深める」には、学びを深めるため、多面的・多角的に考える問いや問題解決的な学習を進める手立てが示されている。 ・ 読み物教材が豊富で、主人公の心の変容の場面から、道徳的価値に迫るように工夫されている。 ・ 「節度・節制」の内容項目に関する教材が、学年当初に配置されている。 ・ 生命尊重や家族愛に関する教材や、これまでも多くの資料集や副教材で取り上げられてきた名作教材とともに、情報モラルやキャリア、防災、福祉等の現代的な課題の教材が、バランスよく取り上げられている。 ・ 「道徳ノート」は、生徒が考えや思いを書き留めることで言語活動を充実させることができるとともに、自分の考えを問い直す効果も期待することができる。 ・ 「道徳ノート」は、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を、教師が継続的に把握して、指導や評価に生かすことができる。
	道徳 708	中学生の道徳ノート 自分を見つめる1	
	道徳 807	中学生の道徳 自分を考える2	
	道徳 808	中学生の道徳ノート 自分を考える2	
	道徳 907	中学生の道徳 自分をのぼす3	
	道徳 908	中学生の道徳ノート 自分をのぼす3	

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
233 日科	道徳 709 道徳 809 道徳 909	道徳 中学1 生き方から学ぶ 道徳 中学2 生き方を見つめる 道徳 中学3 生き方を創造する	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判の大きさで取り扱いやすいが、35以上の教材とコラムが掲載されていて、文字がやや小さくて読みづらい。 ・ 道徳科4つの視点及び内容項目順に教材が配置されており、授業を各校の年間指導計画に基づいて編成していく必要がある。 ・ 巻頭の「道徳科って何を学ぶの?」には、道徳の授業の流れが示され、続いて「教科書の使い方」には、家庭や地域・社会との関連にも触れている。 ・ 教材ごとに、教材名の上に道徳科の4つの視点を色分けして、内容項目を番号で示している。 ・ 文部科学省「中学校道徳読み物資料集」等、一部の教材以外は、出典等が記載されていないものが多い。 ・ 教材の構成として、「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」が設定され、道徳的な価値について考えたり、価値観の多様性を受け入れたりすることができる発問例が示されている。 ・ 「もっと知りたい」「考えてみよう」「書いてみよう」「話してみよう」「届けたい言葉」「込められた想い」等、教材内容を発展させるコラムや補助情報によって、多面的・多角的に考え、学びを深める工夫がなされている。 ・ 3学年を通じて同じ主人公を登場させ、友情に関する悩みや葛藤に関して学習することができる教材として「リョウとマキ」がある。 ・ 1年生に、絵だけで家族愛について多面的・多角的に考える「ペーパーボード」という教材が設定されている。 ・ 先人の生き方から自分の生き方を見つめ直す教材もあり、兵庫県に関連する人物として、「嘉納治五郎」が取り上げられている。 ・ 人権や福祉、環境に関連する教材が多く、震災関連などの防災に関する教材は少ない。